



残暑お見舞い申し上げます。

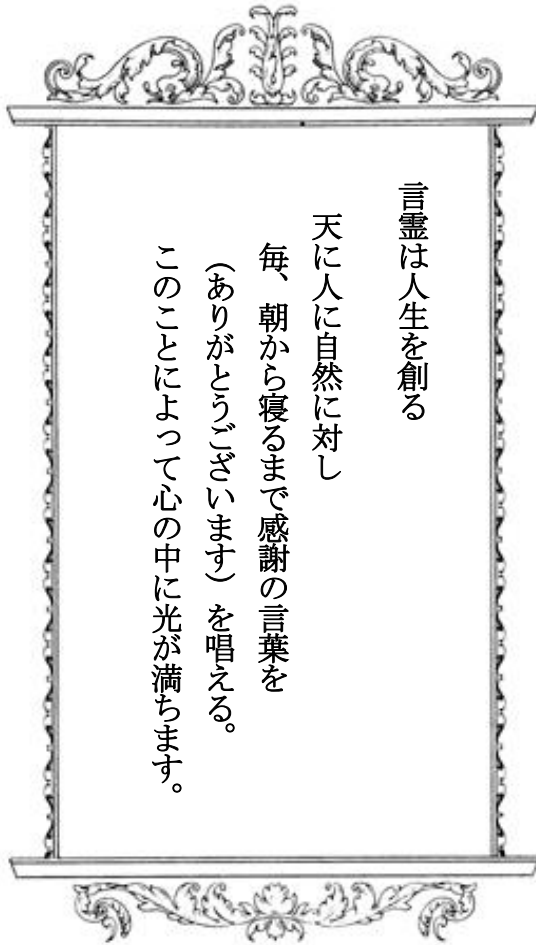
年々気温の上昇が進み日本の地でも40度を超える日が聞こえてくる中、「すでに地獄の門が開いた」とさえおっしゃる学者もいらつしやいます。このまま続くと地球の生態系にも大きく影響が出るとのことですが、日々の生活の中でこのことを意識して過ごしています。地球人全てがこの温暖化にもつと意識を高めることを願います。  
今年もインドの貧困家庭の子どもたちの学習支援をさせていただきました。秋は日本の子どもたちのスポーツ支援が続きます。  
今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## ☆石川県からのお礼状が

### 届きました

今年一月一日に能登半島を襲った震度七の大地震は、石川県を中心に北陸地方に未曾有の大災害をもたらしました。

そこで皆様に支援金を募り、お預かりしたお金を、特に被害の大きかった珠洲市、輪島市、そして石川県庁に当協会名でお送りしました。  
その後、石川県知事名で支援金への感謝とともに、皆様のご厚情が被



言霊は人生を創る

天に人に自然に対し

毎、朝から寝るまで感謝の言葉を

(ありがとうございます)を唱える。

このことよって心の中に光が満ちます。

災者の方々に大きな励ましとなっております。地震発生から半年以上が経過しましたが、珠洲市や輪島市においては、現在も看護師をはじめとした医療支援チームが支援活動を行っており、街では、道路の復旧が進み、店も徐々に営業を再開し始めています。その一方で、がれきが撤去していない地域や未だに断水が続いている地域など、まだまだ多くの震災の傷跡が残っています。

さらに被災地は、過疎化、高齢化が進んでおり、生活再建への道のりはまだまだ厳しい状態ですが、一日も早く被災者の方々の生活と生業を再建し、能登の復興の実現を心から祈念申し上げます。

## ☆青少年育成事業

### ○卓球

海老名市総合体育館と海老名市立中学校を拠点に活動する卓球グループ「リトルキングス」

7月26日・27日・28日に2024年 全日本選手権大会(ホープス、カブ、バンビの部)が神戸で行われ出場しました。

厳しい地区予選を勝ち抜き、全日本大会への出場権を獲得、憧れの舞台に立つことが出来ました。これまでの努力と練習の成果が表れた結果です。

しかしながら本番では、予選で敗退しました。今後に向け頑張っていきたいと思います。



## ☆インド

### 貧困家庭児の

### 学習支援

新年度分の支援金を、送金しました。詳細は、次号でお知らせします。

# ☆回想録記（ネパール）

## ○エル・エンジェル校技術大会 (Y・E)

正確に美しく作る技術を身につけることを目標に、2008年から開催されていた3校合同技術大会が、2010年よりエル・エンジェル校のみに変更になり競技内容がかなりレベルアップされました。

8・9・10年生男女90名で、パソコンで履歴書のタイピングを競いました。大学進学や就職活動にと、将来を見据えた内容でした。



5・6・7年生男子はミニ四駆（プラモデル）作り、説明書を見ながら作り、サーキットコースを走らせタイムを競いました。

- 7年生女子 エプロン作り
- 6年生女子 マスコット作り
- 5年生女子 マフラー作り
- 4年生男女 絵画
- 3年生男女 粘土
- 1・2年生男女 折り紙



賞品もかなりレベルアップされました。デジタルカメラ、ウォークマン、双眼鏡、顕微鏡等で、参加賞としてミニ四駆、バック、腕時計等でした。

この様子は、ネパールの新聞5誌に記載され、ラジオでも放送されました。年々、競技内容がレベルアップされ、賞品も。

2012年からは、8・10年生の最優秀賞と1・3位の生徒の賞品が日本で購入した物ではなく、賞金に変わわり、ポカラ市内で本人が望むものを購入することにしました。

技術大会には毎回卒業生達も多く手伝いに来てくれました。  
卒業生一人がリーダーになり生徒達数名とボランティア数名でグループが作られ、そのグループに分かれて食事と買い物をしました。

広いレストランで大勢での食事、生徒達はお皿いっぱい料理を盛り、とびきりの笑顔でとってもはしゃいで食べていました。将来の夢を聞いたり、日本語を教えたり、各テーブルとても楽しかったみたいで、笑い声が聞こえ



てきました。私は男子のグループに付き添いましたが、英語ができないので競技大会の時に撮った写真を見せながら、身振り手振りで生徒達とコミュニケーションをとったのを覚えています。  
デパートで生徒が洋服を買いたいと卒業生に伝えるとデパートは高いからと店外のお店に連れていってくれました。お気に入りの服を買ってご機嫌の笑顔。デパートに戻ると、家族へのお土産か、お菓子を時間をかけて選び、残りの賞金は持ち帰っていました。家族の為に少しでも多く持ち帰ろうと考える生徒に胸が熱くなったのを覚えています。「まだ欲しいものがある」と一人の生徒が言い出し、慌てて上の階へ。時間ギリギリまで探していましたが、卒業生は相談に乗って買い物に付き合っていました。生徒の思いを尊重しながらも、しっかりとした経済観念で良い買い物にしようとする努力してくれる頼もしい卒業生の姿をとっても嬉しく思えたのを思い出します。

通算6回の開催でした。



私は、初年度女子の絵画を担当、次年度からは男子の担当になりました。  
6・7年の模型飛行機作りから始まり、ミニ四駆作り、ロボット作りです。わざわざわざわざ騒いでいた生徒達が年々成長し、10年生になった時には早く作ることも、正確にそして丁寧に製作することの必要性を学び、技術大会に真摯に向き合う学生になっていました。5年間、その成長を見守られたこと、とても嬉しく思いました。

技術大会が開催されたことで、勉強だけでなく、技術力でも貧困から抜け出すことができること、そして技術力を高めるために日頃から丁寧に正確に作業すること、それを継続することで技術力が高まること等、沢山の学びがあったのではないのでしょうか。彼らの将来が楽しみです。

準備の段階から参加させていただき、6年連続でネパールに行くこともできました。思い出がいっぱいです。この活動に参加できました事を心から感謝します。合掌

## こころを宝石箱に

「ここはええ所よ」とは祖父の呟き。ほんに、ほんにと過ごすのんびりとした田舎での日々。今年も魔法のように春がやってきた。「桜散歩しよう」と半冬眠中の母を外へ誘う。毎年同じように見る桜も初めてのように「わあーきれい」と歓声をあげる。母は昨年の半分の距離で帰ると言う。年々歳々、花相似たり。歳々々々、人同じからず、そのもの。花が終わり、新緑に変わった。若葉が目にも栄養を与えてくれるかのように美しい。私の大好きな季節。さあ、そろそろ寒い冬にはしない大そうじを始めるかと思っていた。

4月下旬、叔母の訃報が入る。鍵を預けていた親戚の人に様子を見に行ってもらい発見。入浴中の突然死。一人所帯だったので、夕方の発見から夜通し警察が入り終了は明け方の4時。検死の結果、丸一日経過との事。享年86才。「大きな家をキレイに守ってくれて、ありがとう」と母は電話のたびに言っていた。母の兄弟姉妹の一番下で、元気でシャンシャンだった。皆んな驚きとショックで茫然自失状態。東京の叔父と従兄弟が、翌朝一番で帰広した。そんな状況の中、自己都合なのに、人のせいにする仮面を被った自分ファーストな人にまたかと、うんざり。

たとえ古ぼけて今は使わずにしまわれているものでも、家族の思い出、歴史が染み込んでいる。断るわけでもなく勝手に持ち出し、使い、後片づけもせず放り投じている。似たような事がある度に、怒りや悲しみの思いが沸き起こる。ある方へポロリとその事を話した。「朽ちていくのよ」と一言。そうですね。花が咲き、散り、不変ではないですね。一応納得したはずなのに。何事もないかのような姿を見るにつけ、またぞろ出てくる思い。人を裁くな。自分が裁かれないためである。何度繰り返して唱えたことか。

5月8日の朝、身体の節節も痛んで、光を求めても苦しく、布団の中であれこれ眺く内白くなってポツと浮かんできた。

こころを宝石箱に、

心をごみ箱にしていたんだー私。けっして壊れない、光も失わない。こころ。それ自体が宝石としてもとあるもの。理解できなかった。拝まないうちがまれている。拝まないとときもおがまれている。これだっただんだ！今、私はこころの大そうじ中。

(K・I)

○ “共に助け合いたい”それが私たちの願いです。ご協力、よろしく願いいたします。

○ 支援金振込先 郵便口座 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル  
記号 10290 口座番号 68107191  
ゆうちょ銀行 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル  
店名 (028) 店番 (028) 普通預金 口座番号 6810719  
三菱東京UFJ銀行 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル国際ボランティア協会  
海老名支店 (409) 普通預金 口座番号 0966597

## ☆石巻の子ども達へ

### ○お誕生日プレゼント

7月で15歳になるHさんへのお誕生日プレゼント。商品券と、焼き菓子&ゼリーの詰め合わせと、彼女の好きな紫をメインカラーにした少し大人っぽいバースデーカードを製作し送らせていただきました。

「高校受験を控え、頑張っています。」とお祖母様より、お礼の電話をいただきました。2歳で両親を亡くした孫を、見守り育てていらした、お祖母様の思いが胸に響きます。



### ○編集後記

うだるような酷暑、想像を絶する大雨など自然環境の急激な変化は世界の様々な国で、まさに地球レベルで起き、多くの人が命を落としていきます。また一方では、戦争が続き、終わりが未だに見通せないのが現状です。

今、パリオリンピックが開催され、世界中の人々がこの平和の祭典に注目が集まっています。勝者だけでなく、敗者に対しても温かい声援が送られ感動するシーンが何度も配信されています。

なぜ人類は手を携え、地球ワンチームとなり、困難に立ち向かっていくことが出来ないのでしょうか。

複雑な思いでテレビを観ている私です。

(T・E)